



平成27年5月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年1月8日

上場取引所 福

上場会社名 メディアファブ株式会社

コード番号 3824 URL <http://www.media5.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 上野 英理也

問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役

(氏名) 吉行 亮二

TEL 092-762-0555

四半期報告書提出予定日 平成27年1月9日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年5月期第2四半期の連結業績(平成26年6月1日～平成26年11月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 四半期純利益 | |
|-------------|-----|------|------|-------|------|---|--------|---|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 27年5月期第2四半期 | 527 | 2.7 | △2 | — | △1 | — | △4 | — |
| 26年5月期第2四半期 | 513 | 11.0 | 0 | △87.3 | △0 | — | △2 | — |

(注) 包括利益 27年5月期第2四半期 2百万円 (—%) 26年5月期第2四半期 △2百万円 (—%)

| | 1株当たり四半期純利益 | 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益 |
|-------------|-------------|--------------------|
| | 円 銭 | 円 銭 |
| 27年5月期第2四半期 | △5.79 | — |
| 26年5月期第2四半期 | △3.22 | — |

(2) 連結財政状態

| | 総資産 | | 純資産 | | 自己資本比率 | 1株当たり純資産 |
|-------------|-----|---|-----|---|--------|----------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | % | 円 銭 |
| 27年5月期第2四半期 | 471 | — | 287 | — | 60.7 | 339.46 |
| 26年5月期 | 467 | — | 285 | — | 60.7 | 335.17 |

(参考) 自己資本 27年5月期第2四半期 286百万円 26年5月期 284百万円

2. 配当の状況

| | 年間配当金 | | | | |
|------------|--------|--------|--------|------|------|
| | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末 | 合計 |
| | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 |
| 26年5月期 | — | 0.00 | — | 0.00 | 0.00 |
| 27年5月期 | — | 0.00 | — | — | — |
| 27年5月期(予想) | — | — | — | 0.00 | 0.00 |

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成27年5月期の連結業績予想(平成26年6月1日～平成27年5月31日)

(%表示は、対前期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 当期純利益 | | 1株当たり当期純利益 |
|----|-------|-----|------|------|------|------|-------|------|------------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円 銭 |
| 通期 | 1,110 | 5.8 | 35 | 32.8 | 35 | 29.2 | 20 | 18.7 | 23.60 |

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
 新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

| | | | | |
|---------------------|----------|-----------|----------|-----------|
| ① 期末発行済株式数(自己株式を含む) | 27年5月期2Q | 893,600 株 | 26年5月期 | 893,600 株 |
| ② 期末自己株式数 | 27年5月期2Q | 46,000 株 | 26年5月期 | 46,000 株 |
| ③ 期中平均株式数(四半期累計) | 27年5月期2Q | 847,600 株 | 26年5月期2Q | 847,600 株 |

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外ですが、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続は終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記の業績予想は、現時点で入手可能な情報に基づき判断したものであり、リスクや不確実性を含んでおります。実際の業績は、今後の様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。業績予想に関する事項は、【添付書類】2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

| | |
|------------------------------|---|
| 1. 当四半期決算に関する定性的情報 | 1 |
| (1) 経営成績に関する説明 | 1 |
| (2) 財政状態に関する説明 | 2 |
| (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 | 2 |
| 2. 四半期連結財務諸表 | 3 |
| (1) 四半期連結貸借対照表 | 3 |
| (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 | 4 |
| 四半期連結損益計算書 | |
| 第2四半期連結累計期間 | 4 |
| 四半期連結包括利益計算書 | |
| 第2四半期連結累計期間 | 5 |
| (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 | 6 |
| (継続企業の前提に関する注記) | 6 |
| (株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) | 6 |

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における我が国経済は、消費税率の引き上げの影響が個人消費に一部見られましたが、政府による経済政策や金融政策を背景として、ゆるやかな回復基調で推移いたしました。

当社グループの属する情報サービス業界では、景況感の改善に伴い、主に金融業や製造業等のIT関連投資が増加傾向にあり、今後も緩やかな回復基調が継続するものと考えております。また、首都圏を中心に依然として高度IT人材の不足感は強くなっております。

このような環境の中、ソリューション事業BtoBソリューショングループは、前連結会計年度に推し進めたITエンジニアの技術力に見合う契約単価交渉とITプロ育成研修(虎の穴研修)から輩出されたITエンジニアの計画的な人員配置が大きな要因となり、売上高及び売上総利益が増加いたしました。しかしながら、ソリューション事業BtoCソリューショングループにおいて、大規模・中規模のシステム開発案件が減少しており、売上高及び売上総利益が減少しております。また、内部管理体制の強化及び優秀な人材の囲い込みを目的に、保有資格や作業能力の実績等に応じて労務費を上昇させております。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高527,291千円(前年同四半期は513,666千円)、売上総利益192,070千円(同180,942千円)、営業損失2,479千円(前年同四半期は営業利益138千円)、経常損失1,899千円(前年同四半期は47千円)、四半期純損失4,908千円(同2,728千円)となりました。

セグメント別の状況は次のとおりであります。(各セグメントの売上高は、セグメント間の内部売上高を含んでおります。)

第1四半期連結会計期間より、報告セグメントの区分方法を変更しております。なお、業績における前年同期比較については、前年同期の数値を変更後の区分方法及び算定方法により組み替えて比較しております。

①ソリューション事業BtoBソリューショングループ

ソリューション事業BtoBソリューショングループは、稼働者数136名からスタートし、稼働率も概ね高い水準で推移いたしました。前連結会計期間において、ORACLE MASTER等のITベンダー系の資格取得を中心にIT人材のスキルアップに注力した結果、一人当たりの平均単価は上昇しており、売上高が増加いたしました。また、ITエンジニア育成研修(虎の穴研修)から定期的に人材を輩出できており、ITエンジニアの能力の向上と人員体制の強化に注力しております。なお、当連結会計期間より、東京地区を中心に、大規模な基幹システムの運用・サポート業務に従事するチームを独立させ「運用・サポート本部」を新設しており、高スキルを背景とした高収益性グループの特色を出し、政策的に営業活動を強めております。その結果、当第2四半期連結累計期間における売上高は465,918千円(前年同四半期は435,627千円)、セグメント利益は99,792千円(同80,149千円)となりました。

②ソリューション事業BtoCソリューショングループ

ソリューション事業BtoCソリューショングループは、システム開発案件が減少しており、売上高及び売上総利益が減少いたしました。一方で受注状況は、中規模・小規模のシステム開発案件の引き合いが増加傾向にあり、受注活動の強化と適正なプロジェクト運営に注力いたしました。その結果、当第2四半期連結累計期間における売上高は13,620千円(同24,543千円)、セグメント損失は11,141千円(同3,814千円)となりました。

③工事関連事業

工事関連事業は、各種テナント・賃貸ビル等の内装工事・外装工事を中心に事業を行っており、当第2四半期連結累計期間においては、主として消費税率の上昇による受注減が影響し、売上高は35,396千円(同53,821千円)となりましたが、既存先への提案型営業を強化したことで、セグメント利益については3,012千円(同6,652千円)と黒字を確保いたしました。

④その他事業

その他事業は、当社の連結子会社である株式会社ダブルスキルによるデザイン・広告・Webサイト等の作成を行う事業を中心に、当第2四半期連結累計期間における売上高は16,404千円、セグメント利益は886千円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

資産・負債・純資産の状況

(資産)

資産合計は471,445千円（前連結会計年度末は467,873千円）、うち流動資産390,094千円（同397,559千円）、固定資産81,351千円（同70,314千円）となりました。

その主な内訳は、流動資産については現金及び預金244,324千円（同275,234千円）、売掛金130,588千円（同107,668千円）等であります。固定資産については有形固定資産14,827千円（同15,652千円）、無形固定資産2,761千円（同2,736千円）、敷金及び保証金28,706千円（同27,515千円）等であります。

(負債)

負債合計は183,720千円（同182,590千円）、うち流動負債は159,056千円（同156,572千円）、固定負債は24,664千円（同26,017千円）となりました。

その主な内訳は、流動負債については買掛金11,145千円（同10,350千円）、未払費用66,112千円（同65,213千円）等であります。固定負債については長期借入金19,322千円（同24,454千円）等であります。

(純資産)

純資産合計は287,724千円（同285,283千円）、うち株主資本270,884千円（同275,793千円）、その他の包括利益累計額15,197千円（同8,296千円）、少数株主持分1,642千円（同1,194千円）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成26年7月14日に発表いたしました業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

| | 前連結会計年度 (平成26年5月31日) | 当第2四半期連結会計期間 (平成26年11月30日) |
|---------------|-------------------------|-------------------------------|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 275,234 | 244,324 |
| 売掛金 | 107,668 | 130,588 |
| 仕掛品 | 5,235 | 3,957 |
| 原材料及び貯蔵品 | 832 | 594 |
| 繰延税金資産 | 186 | 101 |
| その他 | 8,825 | 11,021 |
| 貸倒引当金 | △422 | △493 |
| 流動資産合計 | 397,559 | 390,094 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | 15,652 | 14,827 |
| 無形固定資産 | 2,736 | 2,761 |
| 投資その他の資産 | | |
| 敷金及び保証金 | 27,515 | 28,706 |
| その他 | 24,409 | 35,055 |
| 投資その他の資産合計 | 51,925 | 63,761 |
| 固定資産合計 | 70,314 | 81,351 |
| 資産合計 | 467,873 | 471,445 |
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 買掛金 | 10,350 | 11,145 |
| 1年内返済予定の長期借入金 | 14,664 | 12,464 |
| 未払費用 | 65,213 | 66,112 |
| 未払法人税等 | 9,661 | 3,674 |
| 未払消費税等 | 15,851 | 21,338 |
| その他 | 40,831 | 44,321 |
| 流動負債合計 | 156,572 | 159,056 |
| 固定負債 | | |
| 長期借入金 | 24,454 | 19,322 |
| 繰延税金負債 | 1,563 | 5,342 |
| 固定負債合計 | 26,017 | 24,664 |
| 負債合計 | 182,590 | 183,720 |
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 175,825 | 175,825 |
| 資本剰余金 | 141,525 | 141,525 |
| 利益剰余金 | △32,733 | △37,642 |
| 自己株式 | △8,823 | △8,823 |
| 株主資本合計 | 275,793 | 270,884 |
| その他の包括利益累計額 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 8,296 | 15,197 |
| その他の包括利益累計額合計 | 8,296 | 15,197 |
| 少数株主持分 | 1,194 | 1,642 |
| 純資産合計 | 285,283 | 287,724 |
| 負債純資産合計 | 467,873 | 471,445 |

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

| | 前第2四半期連結累計期間 (自平成25年6月1日 至平成25年11月30日) | 当第2四半期連結累計期間 (自平成26年6月1日 至平成26年11月30日) |
|--------------------|--|--|
| 売上高 | 513,666 | 527,291 |
| 売上原価 | 332,723 | 335,221 |
| 売上総利益 | 180,942 | 192,070 |
| 販売費及び一般管理費 | 180,804 | 194,550 |
| 営業利益又は営業損失(△) | 138 | △2,479 |
| 営業外収益 | | |
| 受取利息 | 7 | 7 |
| 未払配当金除斥益 | 145 | — |
| 雑収入 | 307 | 839 |
| 営業外収益合計 | 460 | 847 |
| 営業外費用 | | |
| 支払利息 | 360 | 258 |
| 創立費償却 | 276 | — |
| 雑損失 | 9 | 9 |
| 営業外費用合計 | 646 | 267 |
| 経常損失(△) | △47 | △1,899 |
| 税金等調整前四半期純損失(△) | △47 | △1,899 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 3,000 | 2,475 |
| 法人税等調整額 | △214 | 84 |
| 法人税等合計 | 2,785 | 2,560 |
| 少数株主損益調整前四半期純損失(△) | △2,832 | △4,460 |
| 少数株主利益又は少数株主損失(△) | △104 | 448 |
| 四半期純損失(△) | △2,728 | △4,908 |

(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

| | 前第2四半期連結累計期間 (自 平成25年6月1日 至 平成25年11月30日) | 当第2四半期連結累計期間 (自 平成26年6月1日 至 平成26年11月30日) |
|--------------------|--|--|
| 少数株主損益調整前四半期純損失(△) | △2,832 | △4,460 |
| その他の包括利益 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 77 | 6,901 |
| その他の包括利益合計 | 77 | 6,901 |
| 四半期包括利益 | △2,755 | 2,441 |
| (内訳) | | |
| 親会社株主に係る四半期包括利益 | △2,650 | 1,993 |
| 少数株主に係る四半期包括利益 | △104 | 448 |

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。